

第6回 米山奨学生ふれあいスピーチコンテスト 報告

米山奨学委員会
委員

岡部 倫正

(大阪城南RC)

日時：2015年11月14日(土) 10:00~12:10
 場所：サニーストーンホテル 別館3階 富士の間
 審査員：立野純三G、若林紀男PG、高島凱夫PG、
 福田治夫委員長、何玉翠米山学友会前会長
 司会進行：吉馴茂子
 地区委員：委員長 福田治夫
 副委員長：古城紀雄、田中隆弥
 委員：三木得生、堀田修平、堀隆、岡部倫正、
 吉馴茂子、鹿浦英毅、石井博章、久保幸一
 出席者：カウンセラー 10名、ロータリアン24名、
 米山学友会9名、現役米山奨学生
 出場者：米山奨学生11名

【最優秀賞】



汪 韵(中国) 大阪ハイテクノロジー専門学校
 世話クラブ：大阪うつほRC
 『私にとっての日本留学の成果
 ~手をつないで輪をつないで~』

2015-2016年度米山奨学生ふれあいスピーチコンテストは小雨降る中、数多くのロータリアンに集まって頂き盛大に開催されました。スピーチ発表前の奨学生11名の表情は皆、緊張の面持ちで自身の出番に向けて原稿に目を通す奨学生、じっと視線を一点に凝らしてスピーチを暗唱している奨学生、ただひたすら自分の発表を待つ奨学生、皆何とも言えない面持ちでした。

しかし、自分の発表になると皆表情が生き生きとし、多少の緊張感があるものの4月からの米山奨学生になったこの8か月間の思いを込めて日本留学の成果を発表されました。

奨学生は『希望』と『不安』を胸に一人でこの日本へ留学に来ています。その中でやはり言語には相当な苦労があったと推測致します。しかしながら、この5か月間の奨学生の日本語の上達力には目を見張るものがあり非常に驚きを覚えました。皆共通して言えることは、日本が『大好き』という事と、奨学金を出して頂いているロータリアン皆様への『深い感謝のこころ』です。この思いが奨学生の日本語の上達の一助になっているのではないのでしょうか。

僅差のため難航したという選考審査会を経て、立野純三ガバナーから最優秀賞と優秀賞が、若林・高島両パストガバナーからはそれぞれ特別賞が、福田米山奨学委員会委員長から参加賞を授与されました。最後に高島パストガバナーから講評を受け、駆けつけて下さったたくさんの応援ロータリアンを含めて全員で記念撮影して散会しました。

これから米山奨学生の奨学期間を終えて帰国する人、日本で就職する人、皆が母国と日本の懸け橋となって次世代に繋いでいって頂けると確信したスピーチコンテストでした。



米山だよ!! 全員集合
 みんな笑顔で『はいチーズ♪』